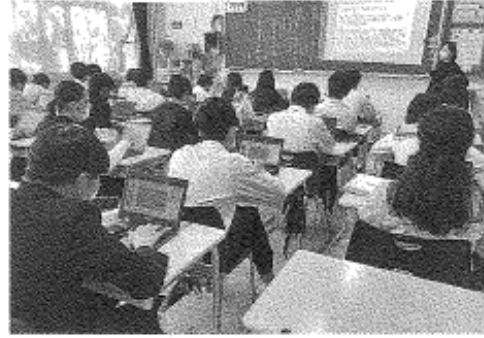


# 道大附属函館中を国研調査官視察

## 論理的 指導の工夫評価 思考力育成 国語「情報の扱い」の実践参観



【函館発】国立教育政策研究所の鈴木太郎教育課程調査官は9月20日、教育課程実践検証協力校事業の一環で道教育大学附属函館中学校（中村百秀校長）を視察に訪れた。学習指導要領中学校国語で新しく示された「情報の扱い方」に関する事項」に関する授業実践を参観し、論理的思考力の育成につながる指導の工夫を確認した。

事業は生徒が学習に取り組み様子の視察を通して、国が示す施策の反映状況を確認することが目的。同校は「各教科等の教育課程に関するもの」のカテゴリー

において、国語の協力校の指定を受けている。視察ではCBTを利活用した同校の授業実践とともに、特定の教員の指導の経年変化について、情報を収集した。

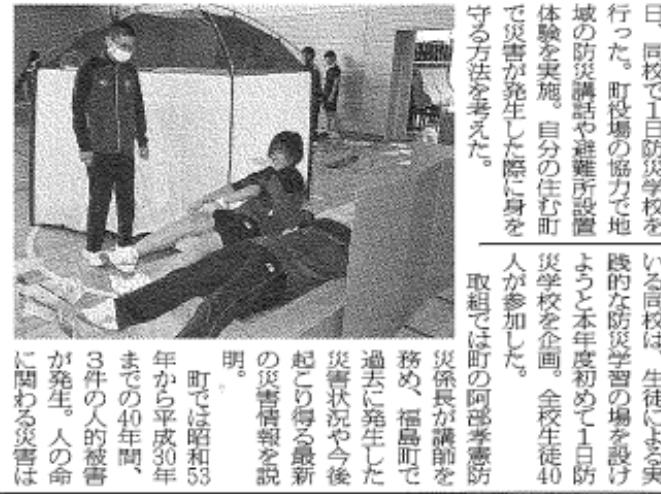
公開授業の指導者は米田真尋教諭、阿部奈央美教諭、森谷剛教諭の3人。うち事業指定2年目となる阿部教諭は2年生「勉強の在り方」について互いの考えを交流する「根拠をもとに意見を書く」を指導し、写真1。

単元は多様な考え方ができる身近な事例について、自分の考えを書く活動。阿部教諭は、定期テスト廃止に対するメリットやデメリットを指摘した上で「勉強の仕方はどうあるべきか」をテーマに、意見を書かせる授業とした。

本時の目標は「意見と根拠、具体と抽象な情報と情報との関係について理解

授業では、本時の課題を「読みの納得を得られるように根拠と意見のつながりを見直そう」と提案。事実と理由付けの整合性が理解しづらい例を挙げ、その原因をペアで交流させるなど、学習課題を明確化できるように工夫した。

生徒は①同じ意見で根拠も同じ②同じ意見だが根拠が異なる③違う意見だが根拠が同じ④違う意見で根拠



【函館発】福島町立福島中学校（助川剛校長）は3日、同校で1日防災学校を行った。町役場の協力で地域の防災講話や避難所設置体験を実施。自分の住む町で災害が発生した際に身を守る方法を考えた。

【函館発】福島町立福島中学校（助川剛校長）は3日、同校で1日防災学校を行った。町役場の協力で地域の防災講話や避難所設置体験を実施。自分の住む町で災害が発生した際に身を守る方法を考えた。

取組では町の阿部孝憲防災係長が講師を務め、福島町で過去に発生した災害状況や今後起こり得る最新の災害情報を説明。

町では昭和53年から平成30年までの40年間、3件の人的被害が発生。人の命に関わる災害は

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人

【函館発】函館深堀地区5校園が避難訓練津波から身を守るため地域の異校種連携し900人